



各務原市
ライフデザインセンター、文化会館
個別施設計画

令和3年3月
(令和6年4月一部改訂)
各務原市
(いきいき楽習課)

目次

1	個別施設計画の背景・目的等	1
	(1) 背景と目的	1
	(2) 個別施設計画の位置付け	1
	(3) 対象施設	2
	(4) 計画期間	4
2	施設の現況	4
	(1) 施設の利用状況等の把握	4
	(2) 個別施設の状態等	10
3	施設の今後の方針と改修等の優先順位付け	11
	(1) 今後の方針	11
	(2) 改修等の優先順位付け	11
	(3) 目標使用年数	11
4	長寿命化の対策内容と実施時期、対策費用	12
5	個別施設計画推進に向けた取組み	17

1 個別施設計画の背景・目的等

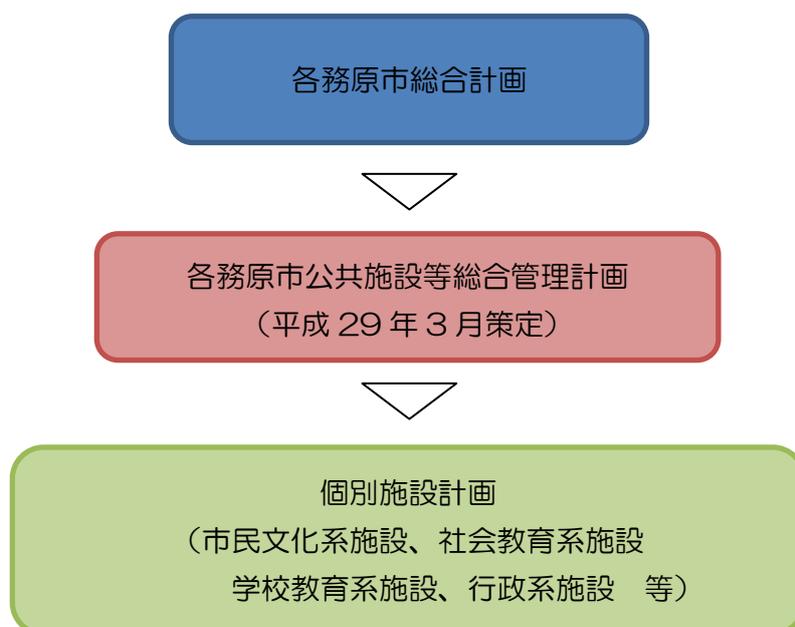
(1) 背景と目的

本市では、高度経済成長期以降の人口増加や行政需要の拡大を背景に、昭和 40 年代半ばから昭和 60 年代にかけ、様々な公共建築物やインフラ資産が集中的に整備されてきました。今後は急速に人口減少や高齢化が進行するだけでなく、これらの公共施設等の老朽化も進み、これから一斉に大規模改修や更新の時期を迎えることとなります。

このような背景のもと、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、所有施設等の現状や施設全体の管理に関する基本的な方針を定め、中期的な取組の方向性を明らかにするとともに、市民の安全・安心を確保し、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るための計画として、平成 28 年度に「各務原市公共施設等総合管理計画」を策定しました。この総合管理計画を着実に推進するためには、各施設の特性や維持管理・更新等に係る取組状況を踏まえ、具体的な対応方針を定める必要があるため、各務原市ライフデザインセンター、文化会館個別施設計画を策定しました。

(2) 個別施設計画の位置付け

個別施設計画は、「各務原市公共施設等総合管理計画」の下位計画として位置づけられ、総合管理計画に記載された施設の具体的な計画となります。また、総合管理計画は市の最上位の計画である「各務原市総合計画」の下位計画として位置づけられています。



(3) 対象施設

NO.1～3 大分類：市民文化系施設、中分類：集会施設

NO.4 大分類：市民文化系施設、中分類：文化施設

NO.	施設名称	所在地	建築年度 (西暦)	延床面積 (㎡)	構造 ※	所管課
1	中央ライフ デザインセンター	蘇原中央町 2-1-8	1977	2,912.59	RC	いきいき楽習課
2	東ライフ デザインセンター	鶴沼朝日町 3-163-2	1975	658.08	RC	いきいき楽習課
3	川島ライフ デザインセンター	川島河田町 1028	1971	1,056.00	RC	いきいき楽習課
4-1	文化会館（市民会館）	蘇原中央町 2-1-8	1977	3,116.68	RC	いきいき楽習課
4-2	文化会館（文化ホール）		1987	1,535.52		
計				9,278.87		

※構造 RC：鉄筋コンクリート造

(4) 計画期間

社会情勢の変化や政策動向等によって、公共施設を取り巻く環境や施設の経年劣化、疲労等の状態が時々刻々と変化するため、計画期間は10年間としますが、点検結果その他の状況を踏まえ、適宜計画を見直します。また、施設を維持していくためには、より長期的な視点が不可欠であるため、40年間の費用を算出しています。

2 施設の現況

(1) 施設の利用状況等の把握

対象施設の状況を次頁以降に示します。

【施設状況シート】

施設番号	1
------	---

施設名称	中央ライフデザインセンター
所在地	蘇原中央町2-1-8
施設所管課	産業活力部いきいき楽習課
施設類型(大分類)	市民文化系施設
施設類型(中分類)	集会施設
建築年度(西暦)	1977
延床面積(㎡)	2,912.59
構造	RC造

名称	構成数
会議室(大・第1・第2)	3
音楽室(第1・第2)	2
料理室	1
研修室(第1・第2・パソコン)	3
練習室(第1・第2)	2
和室	1

現状把握	1 施設の概要							
	各務原市公民館条例に基づき設置							
	開館時間				休館日等			
	火～日曜日				9:00～22:00			
	月曜日・祝日・12/28-1/4							
	2 運営主体、管理方法等							
	指定管理：サンエス株式会社							
	3 利用状況							
	<施設利用者の推移>(単位：人)							
	建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
-	82,645	68,054	55,599	57,120	96,434	92,720	63,238	
<施設稼働率の推移>(利用時間/利用可能時間、単位：%)								
建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
-	34.5	35.4	32.3	30.9	32.4	33.2	33.9	
<施設利用料収入の推移>(単位：千円)								
建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
-	1,938	1,812	1,381	1,529	2,388	2,743	2,488	
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年1月～8月の間、リフレッシュ工事を行った。 リフレッシュ工事後は、音楽室と練習室を1部屋ずつ増設したことで利用者が増えている。 								
4 課題(利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等)								
<ul style="list-style-type: none"> 市民会館と併設しているため、市民会館や文化ホールで催事があると混雑する。 市民会館に多くの来場者がいるときは、「駐車場が埋まっていて使えない」、「会議室が楽屋として使われるから予約できない」などの苦情が中央ライフデザインセンターの利用者から寄せられる。 サークル活動で利用する団体は、おおむね曜日・時間等の配分ができていますが、防音設備や鏡のある部屋などの利用は、予約が重なりやすく使用しづらい傾向になりつつある。 								
5 類似施設(市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか)								
類似機能の施設の有無	あり(貸館)	施設名	蘇原コミュニティセンター	おおよその直線距離(m)	1,300			

施設番号	2
------	---

施設名称	東ライフデザインセンター
所在地	鶴沼朝日町3-163-2
施設所管課	産業活力部いきいき楽習課
施設類型(大分類)	市民文化系施設
施設類型(中分類)	集会施設
建築年度(西暦)	1975
延床面積(㎡)	658.08
構造	RC造

【施設構成】

名称	構成数
事務室	1
研修室	1
料理実習室	1
和室	1
学習室	1
談話室	1
体育室	1

現状把握	1 施設の概要							
	各務原市公民館条例に基づき設置							
	開館時間				休館日等			
	火～土曜日	9:00～22:00	日曜日	9:00～17:00	月曜日・祝日・12/28-1/4			
	2 運営主体、管理方法等							
	運営主体:市 職員配置:正職員2名、会計年度任用職員8名内社会推進指導員1名、社会教育指導員3名、事務補助職員2名、夜間管理人兼事務補助職員2名							
	3 利用状況							
	<施設利用者の推移>(単位:人)							
	建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	-	15,181	19,008	19,952	16,045	13,467	13,979	14,267
<施設稼働率の推移>(利用時間/利用可能時間、単位:%)								
建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
-	16.4	15.3	16.0	15.6	14.1	26.1	24.9	
<施設利用料収入の推移>(単位:千円)								
建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
-	520	462	455	336	321	516	494	
4 課題(利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等)								
<ul style="list-style-type: none"> ・(共同)駐車場の運用上、こども館、陵南福祉センターでの施設利用状況等により手狭になる場合がある。 ・施設内にエレベーターがないため、足の不自由な方から利用が敬遠されている。 								
5 類似施設(市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか)								
類似機能の施設の有無	あり(貸館)	施設名	陵南福祉センター	おおよその直線距離(m)	100			
6 特記事項								
平成17年度に大規模改修を実施。改修内容は、館内の大幅な間取り変更、内装・水回り系統リフォーム、ガス冷暖房の導入、外壁の吹付し直し、北側ガラスウォールと天然木敷設による化粧直し(天然木化粧板は、経年劣化で腐食、褪色等が進行している)。								

施設番号	3
------	---

施設名称	川島ライフデザインセンター
所在地	川島河田町1028
施設所管課	産業活力部いきいき楽習課
施設類型(大分類)	市民文化系施設
施設類型(中分類)	集会施設
建築年度(西暦)	1971
延床面積(㎡)	1,056
構造	RC造

【施設構成】

名称	構成数
会議室	2
学習室	2
和室	1
集会室	1
ロビー	1
事務室	1

現状把握	1 施設の概要							
	各務原市公民館条例に基づき設置							
	開館時間				休館日等			
	火～土曜日	9:00～22:00	日曜日	9:00～17:00	月曜日、祝日、12/28-1/4			
	2 運営主体、管理方法等							
	運営主体:市 職員配置:正職員2名、会計年度任用職員5名、用務員3名							
	3 利用状況							
	<施設利用者の推移>(単位:人)							
	建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	47,700	64,388	50,596	45,693	48,742	42,997	38,611	22,130
<施設稼働率の推移>(利用時間/利用可能時間、単位:%)								
建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
-	19.8	20.9	20.1	21.0	20.0	21.0	18.1	
<施設利用料収入の推移>(単位:千円)								
建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
-	504	502	462	514	467	492	417	
4 課題(利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等)								
<ul style="list-style-type: none"> ・会議室が2部屋あるが手狭で使い勝手が悪い。 ・講座等に使わないロビーや事務室が広く、学習室が少ない。 ・駐車場が狭い。 ・調理室がないため、料理講座等ができない。(現在は川島健康福祉センター等を借りて実施) 								
5 類似施設(市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか)								
類似機能の施設の有無	あり(貸館)	施設名	川島健康福祉センター	おおよその直線距離(m)	400			

施設番号	4-1
------	-----

施設名称	文化会館(市民会館)
所在地	蘇原中央町2-1-8
施設所管課	産業活力部いきいき楽習課
施設類型(大分類)	市民文化系施設
施設類型(中分類)	文化施設
建築年度(西暦)	1977
延床面積(m ²)	3,116.68
構造	RC造

【施設構成】

名称	構成数
市民会館	1
ホワイエ	1
楽屋	5

現状把握	1 施設の概要	各務原市文化会館条例に基づき設置							
		開館時間			休館日等				
		火～日曜日	8:30～22:00		月曜日(祝日の場合開館)・12/28-1/4				
	2 運営主体、管理方法等	指定管理: サンエス株式会社 職員配置: 館長、施設管理統括 各1人、事務 3人、施設管理 4人、事務 3人、舞台 2人、企画 1人							
	3 利用状況	＜施設利用者の推移＞(単位:人)							
		建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
		-	57,754	44,376	52,430	54,382	63,305	48,952	48,768
		＜施設稼働率の推移＞(利用時間/利用可能時間、単位:%)							
		建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
		-	39.8	36.7	37.6	35.5	37.9	39.4	40.7
	＜施設利用料収入の推移＞(単位:千円)								
	建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
	-	17,618	13,437	14,985	14,408	16,259	15,655	12,726	
4 課題(利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等)	<ul style="list-style-type: none"> 各種発表会のほか、音楽公演等による利用が多い。 施設や設備は、これまで大規模改修を実施してきており、利用者の満足度は高い。 								
5 類似施設(市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか)									
	類似機能の施設の有無	あり	施設名	文化会館(文化ホール)					

施設番号	4-2
------	-----

施設名称	文化会館(文化ホール)
所在地	蘇原中央町2-1-8
施設所管課	産業活力部
施設類型(大分類)	市民文化系施設
施設類型(中分類)	文化施設
建築年度(西暦)	1987
延床面積(m ²)	1,535.52
構造	RC造

【施設構成】

名称	構成数
ホール	1
ホワイエ	1
リハーサル室	2
楽屋	2

現状把握	1 施設の概要	各務原市文化会館条例に基づき設置																						
		開館時間			休館日等																			
		火～日曜日	8:30～22:00		月曜日(祝日の場合開館)・12/28-1/4																			
	2 運営主体、管理方法等	指定管理: サンエス株式会社 職員配置: 館長、施設管理統括 各1人、事務 3人、施設管理 4人、事務 3人、舞台 2人、企画 1人																						
	3 利用状況	<施設利用者の推移>(単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>建築当初</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>28,445</td> <td>25,438</td> <td>27,413</td> <td>24,055</td> <td>23,025</td> <td>22,845</td> <td>23,059</td> </tr> </tbody> </table>							建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	-	28,445	25,438	27,413	24,055	23,025	22,845	23,059
	建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																
	-	28,445	25,438	27,413	24,055	23,025	22,845	23,059																
		<施設稼働率の推移>(利用時間/利用可能時間、単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>建築当初</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>42.4</td> <td>36.8</td> <td>37.9</td> <td>35.5</td> <td>34.7</td> <td>32.8</td> <td>33.2</td> </tr> </tbody> </table>							建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	-	42.4	36.8	37.9	35.5	34.7	32.8	33.2
	建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																
	-	42.4	36.8	37.9	35.5	34.7	32.8	33.2																
	<施設利用料収入の推移>(単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>建築当初</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>8,889</td> <td>7,900</td> <td>8,705</td> <td>8,107</td> <td>8,549</td> <td>7,727</td> <td>7,818</td> </tr> </tbody> </table>							建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	-	8,889	7,900	8,705	8,107	8,549	7,727	7,818	
建築当初	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1																	
-	8,889	7,900	8,705	8,107	8,549	7,727	7,818																	
4 課題(利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等)	<ul style="list-style-type: none"> 主に幼稚園・保育園や様々な教室の発表会での利用が多い。 設備の改修がこれまでほとんどできておらず、全体的に耐用年数を過ぎた設備を使用している。 利用者から和式大便器を洋式にしてほしいという要望が多い。(男子便所:大便器2基、女子便所:大便器8基 うち洋式は1基ずつ) 																							
5 類似施設(市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか)	類似機能の施設の有無																							
	あり	施設名	文化会館(市民会館)																					

(2) 個別施設の状態等

定期点検結果や現地調査によって得られた個別施設の状態について、破損、劣化が確認された箇所や、特に対策すべき項目について以下に示します。

【公共施設等現地調査結果整理表】

調査期間 令和元年 8月 6日 ~ 令和元年 8月 7日

担当部課	いきいき楽習課
------	---------

施設番号	施設名	設備名	建築年度 (西暦)	前回維持更新等 年度 (西暦)	前回維持更新等 からの経過年数 (年)	状況等
1	中央ライフデザインセンター	外壁	1977	2016	3	一部にクラックが発生している
2	東ライフデザインセンター	屋上防水	1975	2005	14	一部に水溜りが見られる
4-1	文化会館(市民会館)	屋上防水	1977	2013	6	経年劣化は見られるものの、状態は良い
		外壁	1977	2013	6	一部にクラックが発生している
4-2	文化会館(文化ホール)	外壁	1987	1987	32	クラックが多数発生している

3 施設の今後の方針と改修等の優先順位付け

(1) 今後の方針

公共施設等総合管理計画では、

〔ライフデザインセンター〕

- 集会場や公民館は、地域コミュニティ活動の拠点として利用されていることや、地域の防災拠点としての機能を有していることを考慮し、現在の保有施設を今後も同様に維持することとしますが、更新を行う場合には、施設の利用実態等を踏まえ、他施設との複合化などについて検討します。(公共施設等総合管理計画 P32 参照)

〔文化会館〕

- 本市の文化発信拠点として、今後も多くの市民に利用されることを考慮し、計画的な設備機器の更新と修繕等により、長寿命化を図ります。(公共施設等総合管理計画 P31 参照)

との方針を示しており、本計画においてもその考え方にに基づき、今後の施設運営を図っていきます。

また、施設の更新の際には、機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去等の必要な対策について今後、積極的に検討していく必要があります。

(2) 改修等の優先順位付け

施設の実態を踏まえ、施設利用者の安全確保を最優先とし、施設の劣化・損傷が著しい施設から優先的に改修、更新していきます。

(3) 目標使用年数

施設の目標使用年数は、「建築物の耐久計画に関する考え方」(日本建築学会)を参考にし、以下のように設定します(表 1、2 参照)。

○鉄筋コンクリート造・・・65年

対象施設は、その時々地域の状況や他の施設の整備状況等によって、施設機能の見直しや存廃の判断が必要になる可能性が比較的高い施設であるため、「建築物の耐久計画に関する考え方」における目標耐用年数の範囲の中間値を採用し、65年とします。

ただし、目標使用年数に関わらず、日常の点検結果や老朽化の進行状況等を踏まえ、必要に応じて躯体調査を実施するなどして、更新時期を判断することとします。

表1. 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	高品質 の場合	普通品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質 の場合	普通品質 の場合			
学校 官庁	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 60 以上
住宅 事務所 病院	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
店舗 旅館・ ホテル	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
工場	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上

Y₀〇〇：目標となる耐用年数がある範囲で示した時の「級」を表す。

表2. 目標耐用年数の級の区分の例

級	目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
	Y ₀ 100	100年	80 ~ 120年	80年
	Y ₀ 60	60年	50 ~ 80年	50年
	Y ₀ 40	40年	30 ~ 50年	30年
	Y ₀ 25	25年	20 ~ 30年	20年

4 長寿命化の対策内容と実施時期、対策費用

対策費用算出にあたっての前提条件

○修繕や改修を実施することによって、建物の長寿命化を図っていきますが、「3 施設の今後の方針と改修等の優先順位付け (3) 目標使用年数」で設定した目標使用年数が経過した時点で、更新（建替え）をすることとして費用を算出しています。

○更新（建替え）予定年度から遡って5年間は、施設や設備の改修を行わないこととします。

○主要構造部（屋根、壁）の改修及び主な設備（空調、給排水衛生設備、中央監視設備、受変電設備、自家発電設備、火災警報設備、浄化槽設備、受水槽・高架水槽設備）の改修について、それぞれ改修単価及び耐用年数を設定し、概算工事費を算出しています。

○各部位や各設備の改修単価は、実勢価格や過去の工事履歴等を参考に設定していますが、工事実施前には施設の詳細な調査等が必要であり、算出した対策費用と異なる場合があります。

○各部位や各設備の耐用年数は、下表を標準としています。ただし、対策費用の平準化や改修時期の調整等により、これによらない場合があります。

種 別	耐 用 年 数	種 別	耐 用 年 数
屋上防水（塩ビ）	20 年	外壁（塗装・建具シーリング含む）	15 年
空調（中央式）	20 年	空調（個別式）	15 年
給排水衛生設備	25 年	中央監視設備	15 年
受変電設備	25 年	自家発電設備	25 年
火災警報設備	15 年	受水槽・高架水槽設備	15 年

○概算工事費には、工事費のほか設計委託料、監理委託料を含みます。

○維持補修費用（施設を維持するために要する例年の修繕料）や保守点検費用（設備等を正常な状態に保つために要する定期点検費用）は、1 施設あたり 1,000 千円以上の場合のみ計上します。

○施設自体を維持するために要する費用以外の業務委託料（指定管理料、清掃、除草等）は計上していません。

各施設の長寿命化に係る対策内容と実施時期、費用は次頁以降のとおりです。ただし、対策の実施時期、内容は財政状況や政策動向等によって変更する可能性があります。

今後 40 年間における市民文化系施設（ライフデザインセンター、文化会館）の対策費用の合計は 5,710,558 千円となります。

【対策費用算定表】(総括表)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	5,710,558千円	142,764千円

(単位:千円)

	建築年度(西暦)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41				
中央ライフデザインセンター	1977											47,454					23,650							1,165,036																	47,454			1,283,594	
東ライフデザインセンター	1975			26,506		9,480	34,181	1,815				11,616			1,815							263,232																							358,455
川島ライフデザインセンター	1971								28,829									422,400																											480,058
市民会館	1977	2,838			66,987	102,143				57,475			4,000		34,386								1,246,672																	66,475			1,580,976		
文化ホール	1987	1,892	5,159		253,966	720,530						100,000					10,000				86,393				65,713	149,614								614,208									2,007,475		
合計		4,730	5,159	26,506	320,953	832,153	34,181	1,815	28,829	57,475	0	159,070	4,000	0	36,201	0	456,050	0	0	86,393	263,232	0	1,246,672	1,165,036	65,713	149,614	0	1,815	0	0	0	28,829	614,208	0	1,815	6,180	0	113,929	0	0	5,710,558				

【対策費用算定表】

施設番号	1
施設名	中央ライフデザインセンター
担当部課	産業活力部いきいき楽習課

建築年度	1977
構造	RC
法定耐用年数	50年(2027)
目標使用年数	65年(2042)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	1,283,594千円	32,090千円

(単位:千円)

	耐用年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41				
屋上防水	20																	23,650																											23,650
外壁(塗装)	15											33,881																													33,881			67,762	
空調(個別式)	15											10,000																																10,000	20,000
火災警報設備	15											3,573																																3,573	7,146
更新	65																								1,165,036																				1,165,036
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47,454	0	0	0	0	0	23,650	0	0	0	0	0	0	1,165,036	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47,454	0	0	1,283,594	

【対策費用算定表】

施設番号	2
施設名	東ライフデザインセンター
担当部課	産業活力部いきいき楽習課

建築年度	1975
構造	RC
法定耐用年数	50年(2025)
目標使用年数	65年(2040)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	358,455千円	8,961千円

(単位:千円)

	耐用年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計						
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41							
屋上防水	20						4,356																																							4,356		
屋根(塗装)	7							1,815							1,815																																7,260	
外壁(塗装)	15			6,180																																											12,360	
外壁(アスベスト撤去)	-			20,326																																											20,326	
空調(中央式)	20						29,825																																								29,825	
給排水衛生設備	25											11,616																																			11,616	
照明						9,480																																									9,480	
更新	65																																															263,232
合計		0	0	26,506	0	9,480	34,181	1,815	0	0	0	11,616	0	0	1,815	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,815	0	0	0	0	0	0	1,815	6,180	0	0	0	0	0	0	263,232			

施設番号	3
施設名	川島ライフデザインセンター
担当部課	産業活力部いきいき楽習課

建築年度	1971
構造	RC
法定耐用年数	50年(2021)
目標使用年数	65年(2036)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	480,058千円	12,001千円

(単位:千円)

	耐用年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計						
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41							
空調(個別式)	15								26,000																																							26,000
火災警報設備	15								2,829																																							2,829
更新	65																	422,400																														422,400
合計		0	0	0	0	0	0	0	28,829	0	0	0	0	0	0	0	0	422,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,829	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	422,400		

5 個別施設計画推進に向けた取組み

○関係所管課との連携

公共施設マネジメントは施設所管課が単独でできるものではないため、今後の施設の複合化・集約化などの議論や施設点検結果に基づく対策への助言など、庁内で横断的な連携を図り、計画の推進に向けて取り組んでいきます。

○点検体制の構築

施設の適切な管理を推進するため、日常的な管理・点検のほか、法定点検を確実に実施するとともに、これらの点検から得られた各種点検結果のデータを整理し、施設の情報の蓄積を積極的に行っていくこととします。

○進捗管理の徹底

本計画の進捗確認のため、個別施設ごとの施設状態や計画に基づく実施状況を継続的に把握することとします。また、対策の進捗状況を踏まえ、計画期間内であっても、社会情勢や政策動向等、市民のニーズの変化に対応し、適宜、計画内容の見直しを行います。見直しの際には、本市の最上位計画である総合計画や上位計画である総合管理計画との整合性を確保した上で適切に行うこととします。